

令和元年度第3回喜多方市総合教育会議議事録

1 日 時 令和元年9月2日（月）午後1時30分～午後2時30分

2 場 所 喜多方市役所 本庁舎2階 庁議室

3 出席者

（構成員）

市長

遠藤 忠一

教育委員会教育長

大場 健哉

教育委員会委員

遠藤 一幸

教育委員会委員

高橋 明子

教育委員会委員

荒明 美恵子

教育委員会委員

大森 佳彦

（事務局）

企画政策部長

園部 計一郎

企画調整課長

小野 幸一

企画調整課長補佐

伊藤 博之

企画政策班副主任主査

藤井 慎一

企画政策班主査

中川 健介

教育部長

江花 一治

教育総務課長

大瀧 浩信

教育総務課長補佐

佐藤 裕市

学校教育課長

五十嵐 博也

学校教育課主幹

武藤 幸意

学校教育課長補佐

佐藤 茂雄

4 協議事項

（1）喜多方市立小中学校適正規模適正配置基本方針（案）に対するパブリックコメントへの対応について

5 その他

（1）適正規模適正配置に係る会議等スケジュールについて

6 内 容

○園部企画政策部長

ただいまから令和元年度第3回喜多方市総合教育会議を開会させていただきます。それでははじめに、市長から御挨拶申し上げます。

○遠藤市長

本日は、喜多方市総合教育会議を招集いたしましたところ、教育委員の皆様におかれましては、御多用のなか、御出席いただきありがとうございます。また、日頃より本市の教育の充実のために御尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、小中学校の適正規模適正配置につきましては、前回ご審議いただいた、基本方針（案）についてパブリックコメントを実施させていただいたところ、多くの御意見をいただきました。今回は、そのいただいた御意見に対しての対応等を協議してまいりたいと考えております。

教育委員の皆様には忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げ、私からのあいさつとさせていただきます。

○園部企画政策部長

続きまして、次第第3協議事項に入ります。喜多方市総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定により、市長のもとで議事の進行をよろしくお願いいたします。

○遠藤市長

それでは、早速、協議事項に入りたいと思います。まず、協議事項（1）喜多方市立小中学校適正規模適正配置基本方針（案）に対するパブリックコメントへの対応について、所管課の学校教育課長より説明をお願いします。

○五十嵐学校教育課長

パブリックコメントを本年7月12日（金）から8月13日（火）までの33日間実施し、25件の御意見の提出がありました。別紙「パブリックコメントへの意見書提出状況」を御覧ください。寄せられた御意見等の内訳は、個人が23件、団体が1件、匿名が1件となっており、匿名の御意見につきましては喜多方市パブリックコメント制度実施要綱第7条第3項の規定により、住所氏名等を明らかにしていないことから不受理となります。受付総数、地区別、男女別、年代別、閲覧状況の詳細は別紙のとおりです。今後、お寄せいただいた御意見等を参考に実施計画（案）を策定するとともに、御意見に対しての市としての考え方を回答していくこととなります。

それでは、お寄せいただいたパブリックコメントについて、御説明いたします。

※以下、資料「喜多方市立小中学校適正規模適正配置基本方針（案）に対するパブリックコメントへの対応について」を基に、受付番号1から24までの意見内容及び回答案を説明した。

○遠藤市長

ただいま、学校教育課長より喜多方市立小中学校適正規模適正配置基本方針（案）に対するパブリックコメントへの対応について説明をいただきましたが、皆様方から御意見、御質問等ありませんか。高橋委員。

○高橋委員

私が思っていたよりも多くの方から御意見が寄せられた印象があります。おそ

らく年配の方で地域のことを心配していらっしゃる方だと思うのですが、その方々に対して丁寧な説明で回答したいのが私の考えです。このように現時点で回答できる内容でしか返せないのは十分理解していますが、今私たちが説明を受けたように、直接御意見をいただいた方とやり取りできる機会があったら良いと思います。このような話を、意見をいただいた方や当事者も交えて話せるような場があったらと思いますが、もう無いでしょうか。

○五十嵐学校教育課長

今の時点において明確に答えられない現状があります。これから、お寄せいただいた御意見を参考にさせていただき基本方針を固めていきまして、色々なパターンの実施計画案を作成していきます。また、来年度からになると思いますが、地域との話し合いを考えていますので、そういった場でやりとりをさせていただいた内容を実施計画に反映していきたいと考えております。繰り返しになりますが、今回の回答では不十分と感じられる部分もあろうかと思いますが、御理解をいただきたいと思っております。

○高橋委員

今まで色々な場で説明を受けていますので理解はしているつもりですが、市民の方の気持ちになって考えますと、「意見を出したところで聞いてくれない。」と思われるような気がして心配です。今の段階ではここまでしか回答できないことを市民の方に理解していただかないと、不満だけが残ってしまうような気がします。また、次のステップとして意見交換会や説明会も予定していることも市民の方に理解していただくことが大事だと思います。

○荒明委員

適正規模適正配置の考え方について、まだ十分に理解が図られていない、浸透していないのが現状だと、寄せられた意見の内容を見て感じました。今回意見を提出された方で、昨年行われた学校や地域での話し合いの場に参加された方は少ないのではと思いますし、また、これから、寄せられた意見を踏まえたうえで、地域の方々に理解していただくためにより深めた話し合いを実施することが大切だと思います。しかし、全員が納得いく結果になることは難しいかもしれませんが、やはり子どもが一番と考えていることを地域の方々に説明し折り合いをつけていく方向性で進める方が良いと考えています。

○五十嵐学校教育課長

これまでのパブリックコメントについても、市広報やホームページ等において呼びかけてきた結果、24件の御意見をいただくことができました。なお、御質問や御意見の収集についても引き続きホームページ等で周知していくとともに、今後、説明会があることも併せて周知していきたいと考えております。

○遠藤委員

反対的な意見が多いことが残念と感じています。地域住民の皆さんと意見交換

を実施していくということなので、全員が賛成という結果は難しいと思いますが、しっかり話し合いを実施して合意した形で進めて欲しいと思います。

○大森委員

現時点でこのような内容でしか回答できないのは理解できますが、これではパブリックコメントを出しても意味がないと捉えられかねないと思います。また、24件の意見のうち、70代からの意見が10件と約40%を占めており子育て世代ではないことが伺えることから、子どもの望ましい学習環境の充実という思いはありつつも、学校の統廃合で無くなることによる地域の荒廃を心配している方が圧倒的に多いと思います。ただ、私たちの立場として基本的に考えることは、子どもたちにとって望ましい学習環境の整備のことであって、学校が地域から無くなった後に地域が発展するか、そうでなくなってしまうのかという議論は、ある一定のところで線引きしないといけないと思いますし、この総合教育会議の場で話すべきことではないと個人的には考えています。回答については、「実施計画(案)のなかで検討します。」という内容だけではなく、地域の荒廃の部分と将来の子どもたちの望ましい学習環境の整備は、リンクする部分はありつつも、私たちが優先すべきことは子どもたちに望ましい学習環境の整備ですと回答した方が良いと思います。地域の荒廃と子どもたちの学習環境の整備の議論が相対立することで子どもたちが犠牲になってしまいますので、子どもたちのことを一番に考えているということを対応のところに記載すると良いと思います。

○五十嵐学校教育課長

そういった内容も踏まえて回答の内容を検討いたしました。貴重な御意見として承ります。

○高橋委員

大森委員の御意見に賛同しますが、60代、70代の方は若いころ地域づくりに一生懸命やっていた方が多く、今の30代、40代の方とは生活スタイル等が異なると思います。そういった方々が、学校が地域から無くなったときに、地域が荒廃すると不安を感じているかもしれませんが、それは学校の在り方とは別な問題と考えています。地域をどうやって支えていくかというのは、学校が200メートル先にあるか10キロ先にあるかというのは関係がなく、近くにあっても遠くにあっても自分の地域の学校だという捉え方をすることが大事であり、この地域を支えていくのは自分たちだという意識を一人ひとりが再認識する必要があると考えています。そこに住む地域住民が積極的に地域の公民館事業などに参加協力することや、現代的な学校の在り方の勉強会に参加するなど、それぞれが地域づくりの担い手という意識を持って欲しいと考えています。また、この24件の意見の中に、地域づくりのことや働く場所のこと、人口を増加させることなど、色々な考えや問題が記載されています。これでは、何が問題か見えにくい状態であり、三すくみ状態のような動きが取れない状態になってしまっているような気がします。学

校の問題だけではなく、喜多方市の全体の方向性を理解したり、自分の立ち位置など自分の役割を確認できたりする機会や場はありますでしょうか。

○江花教育部長

地域づくりについては、市の施策全体のことであり総合計画や総合戦略にそって役割分担して各部署が一つの方向に向かって進んでいますが、全体の市の進め方を地域の方から御意見いただく審議会はありますし、施策を検討する段階から協議する組織についても各部署で設置している現状です。市長も市民の方と対話する機会もありますし、様々な分野の方から御意見いただいて市政に反映していくことが市としての姿勢であります。全ての御意見を反映することは厳しいところではありますが、できるだけ創意工夫をしながら進めている状況です。なお、今回の適正規模適正配置への意見内容については、基本方針の中身への意見よりも、実際具体的にどう進めるのかという心配の意見という印象を受けています。今後は実施計画の案をお示ししたうえで、それぞれの地域において説明し意見を聞いたうえで修正等してまいりたいと考えております。

○高橋委員

人口が減少していくため望ましい形の学習環境が整備できないとなった場合、その地域に人口を増やす施策を優先して欲しい、例えば企業の誘致や集合住宅を建設するなどそういった意見が出た場合、何年か後に、その地域に学校を建てるなどの計画の話が出ることもあるのでしょうか。

○江花教育部長

地域の方の御意見の中には、学校の統廃合を考える前に人口減少対策をすれば、統廃合をしなくても良いという内容もございますが、その施策をとった場合、成果が上がるまで学校がどのような状況になっているか、タイムラグがあることを考える必要があります。なお、いくつかある実施計画の案の中で、地域の皆さんと意見交換した際に、自分の地域は地域づくりを頑張っって少人数でも学校を残すという判断を選択することも考えられると思います。

○大場教育長

高橋委員や大森委員からの意見に関連してでございますが、施策そのものは学校の適正規模適正配置だけの視点では考えられないことで、全体的に産業の振興をどうするかや人口をどうするか、働く場所をどうするかなど、全て要素として絡んでくることですが、現段階では基本方針で、具体的には実施計画で示していくわけでございますが、コンクリートしているわけではなく、話し合いの中で流動的に地域の实情に合わせて対応していく、そういった学校を模索していく考えでおります。なお、基本方針に対する意見の回答内容や対応については、多くを記載することにより市の施策や方向性を教育委員会が決定づけると捉えられかねないことから、現時点で回答できる範囲の内容で対応するしかないことを御理解いただきたいと思っております。教育行政においても市の関係部署と連携して取り組むことが重

要と考えておりますので、パブリックコメントや基本方針を作るにあたっては各課長や部長などの意見を反映させている状況です。ただ、教育委員会といたしましては、子どもにとってより良い学習環境の整備を最前面に押し出して、進めなくてはならないと考えております。いただいた御意見、御質問のうち、15番以降は特定の団体に所属されている市民の方がとりまとめて提出されたと聞いております。残念なのは、反対の意見が多く賛成の意見が少ないこと、子育て世代からの意見が少なかったことが残念と感じています。年配の方からの意見内容については、教育環境の充実を求める内容というより、学校が無くなった場合の地域についての内容に偏りがちになってしまっています。

○高橋委員

意見の中で、「歩いて行ける距離が小学校の基本」とあり、そういった考え方もあるなと思いましたが、もし意見を書いた方が若い方だったりすると、他市町村の歩いて行ける距離の学校に引っ越してしまうという可能性もあるので無視できないと思いました。交通に若干不便でも、特色があり魅力がある学校を作っていくことが大切と考えています。人数や地域の条件等を擦り合わせてこれしか条件が合う学校の形しかないという作り方より、色々なスタイルの学校があり地域の人が進んで通わせたいと思える未来に目を向けられるような学校をどのように提案するかということが大事と考えました。

○大場教育長

繰り返すにはなりますが、再編になるか現状維持になるか現時点では判断できませんが、魅力ある学校づくりを進めていくことが大前提と考えております。

○遠藤市長

そのほかございますか。無いようでしたら本日の協議事項であります、基本方針(案)に対するパブリックコメントへの対応についてですが、このような方向で進めさせていただきたいと思っております。以上で予定しておりました協議事項は終了となりますので、進行を事務局に戻します。

○園部企画政策部長

それでは次第の5その他に入ります。(1)適正規模適正配置に係る会議等スケジュールについてであります、その内容につきまして、学校教育課長から説明をお願いいたします。

○五十嵐学校教育課長

別紙資料適正規模適正配置に係る会議等スケジュールについてをご覧ください。今後の予定について、9月26日に第6回審議会を開催しパブリックコメントへの対応・最終審議等を協議してまいります。なお、その他関係会議の予定については資料をご覧ください。以上でございます。

○園部企画政策部長

ただ今のスケジュールについて、ご質問等ありませんか。無ければ、以上で令和

元年度第3回喜多方市総合教育会議を閉会させていただきます。御協議ありがとうございました。

以上